施工計画書（記載例）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施工業者 | | 住所 | ○○県○○市○○○○ | | |
| 氏名又は名称 | 株式会社○○○○ | | |
| 施工業者連絡先 | 0000-00-0000 | | |
| 現場責任者 | ○○部　部長　○○○○ | | |
| 現場責任者連絡先 | 0000-00-0000 | | |
| 使用する機械及び  使用する資材 | | バックホウ0.7㎥2台、ブルドーザー1台、散水車1台 | | | |
| 緊急時の連絡体制 | | 現場責任者から下記連絡先に報告を行う | | | |
| 連絡先 | 電話番号 | | |
| ○○工業 | 0000-00-0000 | | |
| ○○警察署 | 0000-00-0000 | | |
| ○○消防 | 0000-00-0000 | | |
| ○○病院 | 0000-00-0000 | | |
| 大分県環境保全課 | 097-506-3117 | | |
| 北部保健所 | 0979-22-2210 | | |
| 受入れ土砂の  採取予定場所と予定量 | | 採取場所名称 | | 採取場所所在地 | 採取土砂量 |
| （国道○○号改修工事等工事名） | | ○○市○○ | 7,000㎥ |
| ○○株式会社 | | ○○市○○ | 3,000㎥ |
|  | |  |  |
| 受入土砂の  管理方法 | | 受入れ土砂は、近隣公共工事の土砂及び○○株式会社の製品を対象とする。  土質は砂質土（第２種建設発生土）のものを搬入する。  土砂搬入届出書・土砂採取元証明書を提出した土砂のみを搬入する。  土砂等管理台帳を整備し、1日毎の採取場所ごとの内訳を明確に整理する。 | | | |
| 施行方法・施設の維持管理方法 | 準備工 | 進入路構造物保護  現場内仮設水切（仮設水路） | | | |
| 搬入路の  新設・改良 | 接続市道（アスファルト舗装）より搬入する。 | | | |
| 工事中の  防災施設 | 沈砂池に放流し、土砂・汚濁水の流出防止に努める。  盛土は別添断面図のとおり（1:1.8勾配）で施工し、法面崩壊に十分注意する。 | | | |
| 埋め立て等の  施行方法 | 仮設道路設置後土砂を搬入し、体積は約30cm厚の高さでまき立て転圧し、盛土する。各段の高さは5m以内、勾配は1:1.8とする。各段に1.5m幅の小段を設置し、雨水排水U字側溝を設置することで、雨水を集水する。  盛土最上段部は高さ20cmの畦畔を設け、雨水の法面への越流を防止する。  造成区域内の雨水排水を調整池に集水し、φ700HP管を経由し、既設水路に放流する。 | | | |
| 浸透水を採取  するための施設 | 暗渠排水管φ75mmを敷設し、流末には500×500集水桝を3か所設置し、その浸透水を採取する。  集水枡は雨水が混入しないよう、普段は蓋ができる構造とする。 | | | |
| その他 | のり面は、芝張り等を行い、風化その他の浸食から保護する措置を講じる。 | | | |
| 周辺の生活環境の保全対策 | | 土砂の搬入車両等による土埃は、散水車による散水により、環境保全に努める。 | | | |
| 生活の安全対策  交通安全対策 | | 通学時間帯は見張り員を配置し、安全に努める。 | | | |
| その他 | | 工期は○○年○月までを予定。 | | | |